

わが校のストップいじめアクションプラン

～いじめの未然防止、早期発見・早期対応～

愛荘町立秦荘西小学校

めざす学校

いじめをしない・させない・見逃さない学校

子どものアクション

○いじめのない明るく楽しい学校・学級づくりを進める。

- ・友だちのよいところ見つけを実施
- ・異学年交流の活性化

○児童会活動によるいじめ根絶運動を推進する。

- ・「いじめ」について知る機会をつくり、学級の具体的なアクションプランを立てる。
- ・人権集会でクラスの目標をふり返る。

家庭や地域と連携したアクション

- ・PTA 総会や地区別懇談会で説明するとともに、学校 HP 等に掲載し、周知を図る。
- ・PTA 活動の一環として、いじめ未然防止研修会に参加し、いじめの認識を深める。
- ・学校評議員会でいじめ問題の取組について協議する。
- ・PTA 活動の重点目標である「元気で気持ちのよいあいさつを交わそう」の活性化を図り、地域で子どもを見守る。

教職員のアクション

○一人ひとりの子どもが大切にされる、いじめのない学校づくりを進める。

- ・わかる授業、魅力ある授業に努め、授業を通して「自己存在感」「共感的人間関係」「自己決定の力」を育む。
- ・いじめや差別を絶対に許さないことを、日常の教育実践の基本とする。
- ・毎月24日を秦西人権の日とし、教員からの講話を行うなど、人権を意識する取り組みを行う。
- ・学校支援メニューから「携帯電話の使い方」学習を活用する。（5・6年生を対象に行う。）
- ・「グレープ賞」で子どもたちを表彰することで、一人ひとりが大事にされる雰囲気醸成する。

○いじめの早期発見に努める。

- ・些細な変化を見逃さないように休み時間、昼食時等において、あいさつや声かけを積極的に行うなど児童とのふれあいに努める。
- ・「子どものつぶやき聴こう強調月間」「生活調べアンケート」を学期に1回実施し、担任と一人ひとりの児童とが面談をすることで、児童の実態や悩み事などを把握して解決に努め、安心して学校生活が送れるようにする。また、教育相談日を月1回設定し、保護者の意見・要望を生徒指導等に生かす。

○職員研修の充実と生徒指導・教育相談体制の強化を図る。

- ・子どもを語る会を行い、子どもたちの状況など、情報共有をする。
- ・「報告」「連絡」「相談」を学校内で十分機能させ、速やかな方針決定とそれに基づく校内体制の強化を図る。

現状と課題

- △言語環境の乱れが見られる。（稚拙さ、乱暴、自分で言えない etc）
- △各種研修等を通して、教職員の感性を磨き続ける必要がある。
- △比較的安定しているため、いじめに対する危機意識が低い。